

## 屏風ヶ浦地区

### ～ひとにやさしい屏風ヶ浦

#### 地区の特性

- 歴史がある街で、古くから住んでいる人が多い
- 区内でも高齢化が進んでいる
- 狭い道路が多い など

### お互いの活動をサポートし、世代を超えた交流の場をつくろう；空き店舗を活用した「サロン梅の里」

#### 【具体策】

- ・ 杉田梅の歴史、梅の効能がわかるような展示をする。
- ・ 梅干漬、梅ジュースの試食、試飲ができるようにする。
- ・ 梅干漬、梅の木の剪定、梅を使った料理の講習会をする。
- ・ 梅にまつわる俳句を募集する。
- ・ 中高生にも来てもらえるような企画を考える。  
(お菓子づくり、ヨガ教室、コンサートなど)

#### 【体制など】

- ・ 杉田梅愛好会／地区社会福祉協議会
- ・ 推進組織として実行委員会を立ち上げる。
- ・ 一般公募して意欲的な人をまきこんでいく。
- ・ 若い世代にも入ってもらう。

### 障害のある人との交流を深め、バリアフリーを進めよう；世代を超え、障害を超えた集いの場をつくる

#### 【具体策】

- ・ 災害時の対応について考える。
- ・ 障害のある人同士の交流の場づくりをする。
- ・ 趣味や遊びを通して誰もが交流できる場をつくる。
- ・ 手話講座・車椅子講座などの福祉啓発講座を開催する。
- ・ いつでも誰でも集まることができるサロンの場をつくる。

#### 【体制など】

- ・ 「集いの場を考える会」（運営委員会）を立ち上げる。
- ・ メンバーとして、障害のある人の代表者、地区社会福祉協議会、学校、活動ホーム、作業所の職員など。
- ・ その他にもやる気のある人を公募して集める。

### 地域の人々の孤立を防ごう；高齢者に地域の歴史を伝える担い手になってもらう

#### 【具体策】

- ・ 「屏風ヶ浦を歩こう会」を開催し、高齢者に地域の歴史を話してもらう。
- ・ 学校で歴史講座を開催し、「語り部」として子どもたちに話をしてもらう。
- ・ スタンプラリーに「歴史コース」を組み込む。

#### 【体制など】

- ・ 連合町内会を通して各地区に呼びかけ、推進メンバーを募集してグループを立ち上げる。
- ・ 森・中原歴史研究会に相談し、協力してもらう。
- ・ 老人会に働きかける。

